



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1984. 4. 15

11

To Club Presidents and Secretaries of DISTRICT 260

**Share Rotary—
Serve People**

みんなにロータリーを—
みんなに奉仕を



水 め る む 撮影 副幹事 西沢健臣

事務所 〒390 松本市中央1-9-18(松本商工会館内) TEL (0263) 36-6588

ガバナー 奥 澤 俊 一



R. I. 事務総長書翰 抜粋

(1984-3-27付)

ハーバート A. ピグマン

最後の四半期は目標を達成させる時

1983-84年度の最後の3ヵ月は、各クラブを激励し、本年度の開始に当って樹立した目標——それらが新クラブの提唱、新会員の補強、新奉仕活動の開始、財団への支援の増強、あるいはその他のいずれであっても——を達成させるよう力付ける時であります。3月1日現在、333の新クラブが加盟を承認されました。これは昨年同期に比し、26%上回るものです。もしもこの速度がこのまま継続されるならば、新クラブの数は600台を突破し、ロータリーの史上2度目の輝かしい記録が樹立されることとなります。しかし肝心なのはその数ではなく、これらクラブが将来その地域社会に対して行なう奉仕なのであります。ここに、これら新クラブの提唱クラブをはじめ、地区ガバナー及び特別代表の方々に心からお喜び申し上げます。現存クラブにおける会員増加が昨年度の1クラブについての会員数0.164を越えるものとなるのは間違いないことです。各クラブの最終四半期における努力がそれを伝えるものとなるに相違ありません。3月16日現在、ビル・スケルトン会長は698の会長賞をクラブ会長宛に贈呈されました。更に多くが贈呈されることになっています。受賞資格のあるクラブのニュースを入手されましたならば、直ちにご提出下さいますようお願いいたします。

カドマン会長ノミニニー、1984年国際大会にて正式に選挙

米国ワシントン州ウェナクR.C.の会員であるエドワードF. カドマン博士は、バーミンガム大会において1985-86年度R.I. 会長に選挙されます。1984-85年度は、メキシコ、ヌエボ・レオン、モンテレーR.C.所属のカルロス・カンセコ会長イレクトが会長として就任されます。

目前に迫ったバーミンガム大会

英国において初めて開催されるこのロータリーの国際大会は盛大なものとなる事が予想されています。

財団寄付に関するニュース

4月1日はクラブ確認の財団奨学金候補者申請書類を地区ガバナーが受理する締切日です。また、地区確認の候補者申請書類は5月1日までに事務総長により受理されなければなりません。尚中央事務局による1984-86年度研究グループ交換補助金申請書の受理締切日は4月1日です。

1984年度手続要覧の完成

1984年手続要覧の英語版は只今各クラブ及びR.I. 役員の方々に無料で配布されています。追加をご希望になる場合には1部USドル6.00でお求めになれます。他の国語による要覧は、6月中に配布されることになっています。(7頁参照)

3-Hプログラム、何百万の子供を援助

現在までに44の保健、飢餓追放、人間性尊重プロジェクトが承認され、その援助金額はUSドル9,450,125に達しています。例えば、12カ国の約2千2百万人の子供達がポリオやその他の疾病に対する免疫性を付与されます。——3-Hでは香港、フィリピン、ブラジルにおいて4週間あるいはそれ以上奉仕できるロータリアンのボランティア歯科医を求めています。貴地区でも援助できるでしょうか？

R.I.による青少年交換徽章コンテスト

1984年2月に開かれた会合において、R.I. 理事会は、ロータリーの青少年交換プログラムの公式徽章の図案コンテストを行なう計画を承認しました。ロータリアン、その夫人、及び子女、また現及び元青少年交換役員は誰でも応募する資格があります。このコンテストの公式発表は、ロータリアン誌の1984年6月号を通じて行なわれることになっています。

最新情報

カルロス・カンセコ会長イレクトの1984-85年度テーマが決定いたしました。それは今月

中に各地区ガバナー・ノミニー、次期クラブ会長、そして又他の次期R.I.役員及び委員会委員宛に送られます。

ロータリーの現状

1984年3月1日現在、ロータリーは158の国及び地理的地域に20,508のクラブと約938,750のロータリアンを有しています。1983年7月以

降R.I.へ加盟した新クラブは50ヵ国より333クラブとなっています。

所見

本年度8ヵ月におけるロータリー財団への寄付金が昨年を21%上回っているのは実に素晴らしいニュースです。（後略）

R. I. 理事会決定事項の抄録

1983-84年度 第3回定期理事会分

R.I.での第3回定期理事会は、1984年2月20～24日、エバンストンの中央事務局にて開催され、理事会はこの会議において12の委員会の報告を受理し、180項目の決議を記録しました。下記はその決議のうちロータリー全般に関するものの要約です。

1984年アジア地域大会

1984年11月14～17日、フィリピンのマニラにおいて開催予定の1984年アジア地域大会の登録料を下記のように設定いたしました。

ロータリアン及び成人ゲスト：（前払い）72 U Sドル、（当日払い）82 U Sドル。ローターアクト、インターアクト会員、青少年交換学生、及び年齢満16～21才のゲスト：（前払い）40 U Sドル、（当日払い）50 U Sドル。16才未満のゲスト：無料。

1985年（カンサス・シティー）大会 --- 5月26～29日

理事会は1985年（カンサス・シティー）大会におけるプログラム、予算、予想参加者数、登録、宿舎、銀行口座及び副会計、余興、商品の販売、及び特別昼食会などを含むすべての分野を検討し決議を行ないました。詳細は1984年（バーミングハム）大会にてご入手になれ、また1984年6月中旬に全クラブに送付される大会登録用紙に記載されます。

1986年国際協議会の期日

1985-86年度の国際協議会は、1986年1月25日～2月1日に開催の予定となっております。この期日は、1983-84年度第1回理事会において記録された国際協議会の期日に関する決議の例外です。1983年7月の抄録“指導者の養成”の項（月信3号4頁）を参照して下さい。

1984-85年度会長主催親善会議

1984-85年度会長は、その年度中に会長主催親善会議を次のように開催する計画をたてております。——（中略）——日韓親善会議、1985年4月。

国際交換会議

1981-82年度、理事会は、国際平和会議、新称国際交換会議の開催に賛成の意を表明しました。この会議の根本目標は、政治や政府に関係のない個人対個人の接触を推進することにより、全世界の人々の間の理解の増進に進んで貢献しようとするものです。

このために設置されたアド・ホック委員会の勧告を検討し、理事会は交換会議の趣旨、名称及び目的、出席方針、交換会議企画、推進用スケジュール、登録及び宿舎、プログラム、予算、又その他の関連事項を含む全ての分野の決議を記録しました。契約が支障なく完了することを前提条件として会議は1985年4月10～13日、オーストリアのウィーンで開催することを承認いたしました。

地区青少年交換委員会の継続性

地区ガバナーは、このプログラムの継続を確実なものとするため、いかなる場合でも青少年交換委員の半数以上は交替させず、そして委員として少なくとも1年奉仕した委員の中から委員長を選び、その任期は2年以内とするべきことが奨励されております。

標準ローターアクト・クラブ定款の修正

1984年7月1日にて効力を発するよう、理事会は、標準ローターアクト・クラブ定款を次のように修正いたしました。第4条4は、“会員資格は……（ハ）会員が29才に達した日に、自

動的に終結するものとする”と修正され、また第6条3には次の新しい節が挿入されます。“任期中29才に達したロータクト・クラブ会長並びに地区代表者は、任期の終了するまで会員身分を維持し、また継続して指導を続けることが出来るよう、更に1年、直前会長あるいは直前地区代表者として在籍できるものとする。”

新クラブ結成の方針声明

理事会により採択され、改正された新クラブ結成の方針声明は、1983年規定審議会規定案83-124(月信8号6頁参照)の採択により有効となったロータリー・クラブ会員身分に関する改正に基づき改正されました。創立会員の少なくとも半数が仮クラブの区域限界内に住居あるいは事業所を有しているのが望ましいとされております。また更に理事会は、“20名以上35名以下の創立会員の満足すべき名簿……”で始まる節を次のように修正いたしました。“少なくとも

も20名以上の創立会員の満足すべき名簿を提出しなければならない。”また次の“国際ロータリーに加盟した”で始まり“ないようにすべきである”で終わる節は削除されました。加えて、理事会は、“創立会員は職業重視の観点から”で始まる節の中の“業種”と“2-3の分類”という言葉の前にある“はっきりした”という言葉が削除いたしました。(1984年度英語版手続要覧の46-47頁、1981年英語版の96-97頁、1981年日本語版の97-98頁をご参照下さい。)

ロータリー財団の基本財産からの支出の承認

1985-86、1986-87、及び1987-88年度におけるロータリー財団の基本財産からの支出を承認する1983年規定審議会の決議を批准し、承認するため、1984年(バーミンガム)大会に決議案が理事会から提出されます。(ロータリー財団の管理委員会は同大会に決議案を提出する理事会の決議を承認しております。)

人頭分担金支払いについてのご注意

R.I.の会計検査後エリンA.ノートン氏より各クラブ幹事宛に、3月26日付で上記事項の書翰が送られておりますが、内容についてはくれぐれもご注意下さいますようお願い致します。

——1983年規定審議会にて修正案が可決した結果、R.I.の細則には現在次のように規定されております。「毎年10月1日及び4月1日付をもって、各クラブは、7月及び1月の半期会費支払い期日以降そのクラブに入会した正会員、シニア・アクティブ会員及びパスト・サービス会員の各々につき、米貨5ドルの比例人頭分担額を支払うものとする。」

上記規定に基づき、各クラブは、当該期間中に、新会員を選ばなかった場合でも、同封の、1984年1月1日から3月31日までの期間に適用される書式を提出しなければなりません。

——(後略)——

公式訪問日程

5月18日(金) 松本 東
5月24日(木) 長野 北

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます
3月20日 住田 明治 殿 (名古屋北)
3月26日 黒沢 一喜 殿 (飯 田)

お め で と う

新ポール・ハリス・フェロー

2月6日	六 鹿 貞 一	(名古屋西)
2月6日	八 代 健三郎	(名古屋西)
2月6日	鈴 木 達次郎	(名古屋西)
2月23日	小 林 俊 雄	(長野東)
2月23日	原 甲 一	(長野東)
2月23日	今 井 千 似	(長野東)
2月23日	久保田 甫	(長野東)
2月23日	久保田 丈 平	(長野東)
2月23日	大久保 六 郎	(長野東)
2月23日	宮 本 肇	(長野東)
2月23日	鹿 熊 肇	(長野東)
2月23日	前 田 貞 雄	(名古屋空港)
2月23日	安 藤 幸 治	(名古屋空港)
2月23日	大 西 松 夫	(名古屋空港)
2月23日	加 藤 龍 彰	(名古屋空港)
2月23日	清 水 忠 雄	(名古屋空港)
2月23日	小岩井 茂 門	(松本南)
2月23日	岩 田 誠 三	(名古屋東南)
2月23日	坂 田 隆	(瀬戸北)
2月23日	鈴 木 国 雄	(豊 橋)
2月23日	梅 村 東	(豊 橋)
2月23日	富 岡 健 一	(豊 橋)
2月29日	永 井 一	(碧 南)
2月29日	高 橋 得 三	(名古屋西)

東尾張分区 I.G.F.開催報告

東尾張分区代理
加藤 政 良



尾張第二分区が東西に分割され東尾張分区としては第一回目の I.G.F.が、春は名をみの風の寒さの「早春賦」を感じさせる 3 月 25 日(日)、瀬戸市の東端、おだやかな谷と丘の起伏に聳えるキャンパス、名古屋学院大学において、瀬戸 R.C.のホストにより、奥澤ガバナー、奥谷ガバナー・ノミニーをはじめ諸先輩来賓のご臨席をいただき、総勢 290 名の参加を得て開催された。加藤分区代理の指導のもと、山内 孝 I.G.F.実行委員長を中心とした瀬戸 R.C.の努力の結晶が前日来の春雨を見事にはらいのけ、素晴らしい I.G.F.日和を迎えることができた。見晴らしのよいキャンパスに定刻全員集合、瀬戸 R.C.加藤鈔会長の点鐘で開会。

今回の I.G.F.の柱として、①記念講演、②五つの部門別フォーラム、③瀬戸らしい友愛の広場の設置、があげられる。セレモニーで奥澤ガバナー、加藤分区代理の格調高いご挨拶をいただいた後、瀬戸北 R.C.の会員である江尻守鉦君による体験を基調とした「素顔のブラジル」と題した講演を拝聴し、地球の裏側のブラジルの実情、他国における職業奉仕の厳しさ、そこに住む我々同胞の熱い愛国心等、感動は聞く人の心の琴線に触れるものがあった。生々しい職業



奉仕の体験は、聞く人に明日へのロータリーの前進を力強く感じさせ、感動の中に日本の素晴らしさを改めて確認させる講演であった。

新装なった学園中チャペルの鐘で正午が告げられ、学生食堂において参加者全員和気藹々の中で昼食。友愛の広場の一つとしての瀬戸の茶碗展が多くの参加者の目をひいた。チャペルの

コーナーに設けられた茶碗展は、瀬戸陶芸作家のご協力に依るもので、休憩時の目の保養として楽しんでもらえた。

午後は、会員資質の向上を図るべく、僅かな一歩だけでも前進をして欲しい——そんな願いをこめての勉強会、五つの部門別フォーラムがもたれた。

① 会長・幹事部門

パネル・リーダー	片山復四郎(小 牧)
パネリスト	安野 譲次(一 宮)
パネリスト	牧尾 良運(小 牧)

② クラブ奉仕部門

パネル・リーダー	福田 源一(江 南)
パネリスト	加藤直一郎(岡 崎 南)
パネリスト	長江 鋭夫(瀬 戸 北)

③ 職業奉仕部門

パネル・リーダー	福田 浩三(名古屋空港)
パネリスト	近藤友右エ門(名古屋)
パネリスト	佐伯 恭二(尾 張 旭)

④ 社会・青少年奉仕部門

パネル・リーダー	鈴木 茂(春 日 井)
パネリスト	佐藤 知雄(名古屋東)
パネリスト	早川富次郎(瀬 戸)

⑤ 国際奉仕部門

パネル・リーダー	吉田 稔(犬 山)
パネリスト	森 泰樹(豊 橋)
パネリスト	林 春男(犬 山)

会員増強等、本年度の時機を得た問題点が熱心に討議され、本音で語り合えるのも I.G.F.の良さではないだろうか。各部門のリーダーより討議内容のご発表を願い、ガバナーより講評並びに新しいロータリー情報のご指導を頂いた。分区代理より、次期 I.G.F.のホスト・クラブとして犬山 R.C.が指名され、犬山 R.C.小川会長の力強い決意のご挨拶を頂きプログラムを終了した。輪になって「手に手つないで」を歌う。ひろがれまわれ、一つ心に、東尾張分区。ホストを担当された瀬戸 R.C.、素晴らしい勉強の場をご提供下さった名古屋学院大学の関係者の皆さん方に心より御礼申し上げます。

(東尾張分区代理幹事 山内鉦平記)



東北信分区 I. G. F. 開催報告

東北信分区代理
塚田 和 男

東北信分区の I. G. F. は 3 月 11 日(日)、佐久クラブのホストにより、千曲パークホテルにおいて開催された。当日の朝は小雪のちらつく天気であったが、開会する頃には陽が差す程に回復、会場となったホテルは佐久平のほぼ中央に位置し、北に浅間山が全山のぞめる大変眺望のよい所で、屋外は少々寒さが残ってはいたが、I. G. F. を催すにはまずまずの日和であった。

奥澤ガバナーをはじめ、北野パスト・ガバナー、奥谷ガバナー・ノミニーのご出席を頂き、この 3 月 1 日に発会したばかりの長野北俣クラブのメンバーにも特に参加を願い、合計 14 クラブ、265 名の会員が集まり、午前 11 時より盛大に行われた。プログラムの主なものは、

- ・フォーラム・リーダー挨拶 塚田 和男
- ・地区ガバナー挨拶 奥澤 俊一
- ・パスト・ガバナー挨拶 北野 幾造
- ・ガバナー・ノミニー挨拶 奥谷 博俊
- ・分科会アドバイザー、リーダー、パネリスト紹介 塚田 和男
- ・昼食
- ・第一分科会「新会員のための R 情報」
- ・第二分科会「会員増強と同化について」
- ・第三分科会「交換留学生問題について」
- ・全体会議
- ・分科会報告

第一分科会リーダー 矢島 謹一
中里三七男

第二分科会リーダー 片井 健雄

第三分科会リーダー 柳沢 方

- ・講 評 アドバイザー 奥澤 俊一
- アドバイザー 北野 幾造
- アドバイザー 奥谷 博俊
- ・総 評 地区ガバナー 奥澤 俊一
- ・次期ホストクラブ発表 塚田 和男
- ・次期ホストクラブ会長挨拶

本年度の当分区の I. G. F. については、昨年 11 月に開いた東北信分区の会長・幹事会において大綱を決めたのであるが、それは本年度の会長テーマが“Share Rotary - Serve People”であり、そのテーマに基づいて各クラブとも熱心に増強が計られたので、この機会をとらえて、“新会員のためのロータリー情報”を第一分科会で採り上げ、特にリーダーに分区代理経験者の中里三七男君（軽井沢）と矢島謹一君（上田東）のベテランお二人にお願いし、第二分科会では第一と関連のある“増強と同化”を採り上げ、小諸 R. C. の片井健雄君と小林益三君に担当して頂き、また第三分科会では今後益々盛んになると予想される“交換学生問題”を採り上げ、丸子 R. C. の柳沢 方君と小林映雄君にお願いをした。各分科会のアドバイザーとして、北野パスト・ガバナーに第一を、奥澤ガバナーには第三を、奥谷ガバナー・ノミニーには第二をそれぞれお願いした。



お蔭様で例年になく参加者が多く、終始熱心に行われ、稔りの多い I. G. F. になり得たと自負いたしました次第である。最後に、ガバナーはじめアドバイザー、リーダー、パネリスト、それにホストをして下さった佐久 R. C. や関係者の皆様方に厚く御礼申し上げ、報告といたします。

松本東ロータリー・クラブ誕生

かねてよりの松本地区に新クラブを設立する動きは、この度その努力が稔り、松本東ロータリー・クラブとして、来る 4 月 20 日創立総会を

開催する運びとなりました。松本 R. C. をスポンサー・クラブとする（神沢伯郎特別代表、原秀好ガバナー・エイド）松本東 R. C. は、30 名を越える創立会員で出発し、金曜日を例会日とするとのことです。

1ドル226円

R. I.在日財務代行者、佐々木秀一氏より4月13日付の通知が各クラブ幹事宛に送られておりますが、これによれば、R. I.中央事務局より来る5月1日から総ての振込み（人頭分担金、ロータリアン誌を除く）に対するロータリーレートを1ドル226円（現行238円）に変更されます。なお、59年1月2日以降入会者の人頭分担金1名5ドルについては1,190円ですのでご注意ください。また、振込みについての注意が併記されていますのでご留意願います。

「R. I.ニュース(第7号)」のご活用を

各クラブ宛に、「R. I.ニュース」の4月－5月号が送られました。全面がロータリー情報ではありますが、目立ったものを拾い出しますと、

○1984年国際大会で選挙されるカドマン会長ノミニ ———指名委員会は、1985－86年度R. I.会長にカドマン氏を選出しました（月信7号4頁に既報）。カドマン博士は、1984－85年度中、会長エレクトとR. I.理事を務めることとなります。

○アジア地域大会への招待状——マニラで1984年11月14日～17日に開かれるアジア地域大会（月信3号3頁、8号3頁参照）の招待状を全ロータリアンに、特にアジア21ヵ国の約3千800クラブのロータリアンに、私から送ります。 W.E.スケルトン R. I.会長

○記録的な国際大会登録——英国、バーミンガムのR. I.国際大会（1984年6月3～6日）が近づくにつれ、登録のテンポも速まり、事前登録者は16,000人を超え、過去の事前登録記録をすべて破りました。

○地区協議会について——地区協議会が近づいています。クラブ会長エレクトは地区協議会に出席するか、正当な理由により出席できない場合は、正式の代理を派遣しなければなりません。会長エレクトのほか、参加者に指定された人は、次期クラブ幹事、各奉仕部門を

担当する理事、会員増強委員会委員長です。

○1984年手続要覧大幅に改訂さる——ロータリアンの手引きと言える同書は、R. I.特別編集委員会の手で、大幅に改訂、調整、簡約されました。その結果、前回の版より100ページ減りました。（月信9号3頁参照）8ヵ国版も翻訳され、1984年6月には配布されます。

1部1,800円で購入できます。

○財団寄付者、留意事項——クラブは、4月（ポール・ハリスの誕生日：4月19日）に、ポール・ハリス・フェローを増やすよう推進してポール・ハリスに敬意を表し、かつ、世界平和という財団の目標を支援することに特に尽力して下さい。

ロータリー年EXP0'85協力に関するお願い

上記について、ロータリーEXP0'85組織委員会の松平委員長よりのお願いが参っておりますので、ご連絡いたします。——

来年3月より筑波で開催される国際科学博覧会（EXPO '85）に協力し、会場内にロータリー一室を設け、日曜祭日を除く毎日、例会を催すことと、その必要経費を全国ロータリアンのご寄付によってまかなうことを、1982－83年度ガバナー連絡会議で申し合しましたので、ご承知のごとく第1回の協力金を本年1月1日現在の会員一人当り500円としてお納め頂き、このうちより3千万円を3月末日に博覧会協会に納付させて頂きました。

第2回の協力金につきましては当初500円を予想しておりましたが、その後現地とも詳細な連絡をとり、予算を編成しまして、先日のガバナー連絡会議、ガバナー・ノミニ懇談会にてご説明申し上げました通り、つぎのように設定せざるを得なくなりました。よろしくご協力をお願い申し上げます。

第2回協力金として昭和59年7月1日現在の全国会員一人当り……800円

すでに各クラブでは来年度予算の編成に着手していると思われますので、上記の件、よろしくお手配されますようお願い致します。

米山奨学会特別寄付報告

日付	クラブ名	個人 人数	寄付金額	日付	クラブ名	個人 人数	寄付金額	日付	クラブ名	個人 人数	寄付金額
3/2	豊川		100,000円	3/14	半田南		50,000円	3/22	あま	1名	300,000円
6	松本	7名	70,000円	14	豊橋北	1名	50,000円	27	岡崎	1名	20,000円
8	佐久	1名	300,000円	16	岡崎	1名	10,000円	27	岡崎南	1名	10,000円
12	名古屋北	1名	300,000円	21	岡崎南	1名	50,000円	28	刈谷	3名	60,000円

計 1,320,000円

各地で多彩な創立記念式典開かる

辰野 R.C. 創立20周年

12月25日(日)、辰野R.C.は辰野町農協会館において、創立20周年記念式典を、町長、ガバナー、分区代理、伊那・箕輪R.C.会長他多数の来賓出席のもとに盛大に挙行され、数々の記念事業の発表、100%出席表彰、結婚記念祝が行われました。式後家族会を兼ねた祝宴に入り、親睦委員会担当の演芸会もあり、家族共々20周年を祝いました。

記念事業として、辰野町にロータリー文庫基金、交通安全対策基金贈呈、R財団ポール・ハリス・フェロー、準フェロー発表、ボーイスカウト、ガールスカウト、BBS等に助成金贈呈、記念誌発行等を行ないました。

豊川 R.C. 創立25周年

2月15日(木)、豊川R.C.は伊勢屋本店において、市長、豊川閣住職、ガバナー、分区代理、特別代表、三河第一分区内各クラブ会長、幹事、姉妹クラブ台湾岡山、韓国大邱達西両R.C.会長等多数の来賓出席のもとに盛大な創立25周年記念例会を行い、各種の記念事業の発表、金婚式を迎えられた3名の元会長夫妻に記念品、花束贈呈が行われました。

記念事業として、市文化広場にアンネのバラ園、県身体障害者職業訓練校に時計塔、韓国大邱達西R.C.へ時計塔を夫々寄贈、R財団へ20万、米山記念奨学会へ10万とそれぞれ特別基金を寄贈いたしました。

名古屋空港 R.C. 創立10周年

2月20日(月)、名古屋空港R.C.は創立10周年記念大会を中日パレスにおいて、豊山町長、名古屋空港長、ガバナー、地区幹事、大隈・鮎谷両P.G.、奥谷G.N.、加藤、宮川両分区代理、東尾張、西尾張両分区の各R.C.会長、姉妹クラブの九龍西R.C.会員・夫人等多数の来賓出席のもとに開催、各種記念事業の発表、クラブ功労者に感謝状贈呈が行われ、記念祝賀会では会員夫人による「すみれ会」の踊り、コーラスの披露、アトラクション等が盛大に行われました。

記念事業として、豊山町寝たきり老人用タンカ浴槽、憩の家へビデオ、名古屋空港屋上へ見学用パラソルを夫々贈呈、九龍西R.C.シン会長へ記念品贈呈、R財団・米山記念奨学会へ各120万円寄贈いたしました。

刈谷 R.C. 創立30周年

3月5日(月)、刈谷R.C.は創立30周年記念式典を刈谷商工会議所において、市長、ガバナー、分区代理、スポンサー・クラブである名古屋R.C.会長、同荒川会員、三河第二分区内各R.C.会長他多数の来賓の出席のもとに盛大に挙行されました。

記念事業として、カナダ、オンタリオ州ミササガR.C.と姉妹提携(昨年6月6日調印)、米山功労者5名、準米山功労者8名、ポール・ハリス・フェロー14名、準フェロー18名、計45名を誕生。刈谷藩々校文禮館跡に2mの石柱を建立。心身障害児施設「ひかりの家」遊戯室、作業場に暗幕一式を寄贈いたしました。

大町 R.C. 創立20周年

3月11日(日)、大町R.C.は黒部観光ホテルにおいて、創立20周年記念式典を、長野県知事、大町市長他各界からの来賓出席のもとに盛大に開催され、記念事業の発表、たまたまI.G.F.のため出席できなかった奥澤ガバナーからのお祝いのメッセージを藤原バスト・ガバナーにより披露、記念講演として「話し上手になって生活にユーモアを」と題する三笑亭笑三師匠による楽しい1時間、続いて祝宴に入り、20周年を祝いました。

記念事業として、永年にわたるニコニコ・ボックスの蓄積1,000万円を、友愛の森建設資金として大町市に寄贈いたしました。

岡崎南 R.C. 創立20周年

4月6日(金)、岡崎南R.C.は第1000回例会を記念して竜美丘会館において、市長、名古屋アメリカンセンター館長、ニューポートビーチ市長、ニューポート・バルボアR.C.会員、ガバナー、ガバナー・ノミニ、近藤、森、川瀬バストガバナー、分区代理、早川特別代表、三河第二分区内各クラブ会長、他多数の来賓出席のもとに挙行。各記念事業の発表、歴代会長、20年100%出席者、クラブ功労者、南体育基金協力者に表彰状、感謝状の贈呈が行なわれました。

記念事業として、R財団へ1,000\$,米山記念奨学会へ20万円寄付、中学校総合体育大会優勝旗22本寄贈、岡崎国立共同研究機構との交流資金の設定、ニューポートビーチ市に記念品、ニューポート・バルボアR.C.に青少年交流資金として50万円の贈呈がなされました。

蒲郡R.C.創立30周年

4月7日(出), 蒲郡R.C.は三谷温泉ひがきホテルにおいて, 市長, ガバナー, 森バストガバナー, 分区代理, 三河第一分区内各クラブ会長, 幹事, 他多数の来賓出席のもとに創立30周年記念式典を挙行。各種の記念事業の発表, クラブ功労者(20年以上在籍者, 元会長, ポール・ハリス・フェロー, 米山功労者)の表彰を行ないました。

記念事業として, 蒲郡グリーンパークへ市民憲章の碑1基寄贈。R財団へ4,100ドル寄付,

愛知太陽の家へ桜樹50本植樹, 記念誌の発行等をいたしました。

渥美R.C.創立15周年

4月11日(水), 渥美R.C.の創立15周年記念例会が渥美町商工会議事室において開催され, 下記の記念事業が行なわれました。

奥三河R.C.姉妹提携記念樹交換。花いっぱい運動へ30万円寄付。福祉協議会町内子供会(5ヵ所)に救急箱の寄贈。R財団及び米山記念奨学会へ各10万円寄付。

R.I.会長賞受賞, おめでとうございます

4月9日に名古屋西R.C.に対して, 4月11日には松本R.C.に対して, R.I.会長賞が贈られました。衷心よりお慶び申し上げます。受賞の対象となった会長賞プログラムの内容は下記の通りです。

名古屋西R.C.

I. みんなにロータリーを

- A. 目標に従って純会員増を達成すること。
+20名

II. みんなに奉仕を

- A. 職業奉仕プロジェクト
B. 新社会奉仕プロジェクト
C. 新国際奉仕プロジェクト
E. 青少年交換プログラム
F. 地区大会登録会員の増加: 14名→54名
G. R財団寄付額の10%増: 7,104\$→
15,852\$

松本R.C.

I. みんなにロータリーを

- B. 新ロータリー・クラブのスポンサーとなること。 新設クラブ: 松本東R.C.

II. みんなに奉仕を

- C. 新国際奉仕プロジェクト
F. 地区大会登録会員の増加: 12名→73名
G. R財団寄付額の10%増: 1,252\$→1,378\$

また, 下記の方々, 新クラブ設立に特に功労があったとして, R.I.会長より表彰状が授与されました。おめでとうございます。

- 西尾張分区代理 宮川 正春君(西春日井)
○西春日井R.C.会長 鴨井 俊雄君

お知らせ

◎東海R.C.のビジター・フィーが5月より変更されます。

(旧) 1,500円→(新) 2,000円

長野北R.C., R.I.加盟承認

去る3月1日, 長野東R.C.をスポンサー・クラブとして創立総会を開いて発足した長野北R.C.は, 3月20日付をもって国際ロータリーに加盟が承認されました。以前と違って, 仮クラブの期間が甚だ短かいのが近頃の傾向と言えます。

長野北ロータリー・クラブ

会 長 真木 茂雄
幹 事 長谷部好一
会員数 36名
例会日 木曜日 12:30
例会場 ホテル長野国際会館
長野市県町576
TEL 34-1111

事務所 例会場と同じ

第2回地区年次大会企画委員会開催

名古屋空港R.C.ホストにより, 今秋開催される1984-85年度地区年次大会のための第2回企画委員会が4月3日(火), 中日パレスにおいて開催され, 日程について討議されました。

9月28日(金)

17:00~ R.I.会長代理歓迎晩さん会

9月29日(土)

11:00~ 新P.H.F.及び米山記念奨学会功労者 昼食会

11:00~ 登録受付開始

12:00~16:35 本会議

18:00~20:00 希望晩さん会

9月30日(日)

9:30~14:20 本会議

お詫び

◎月信前号に添付お配りした「第260地区クラブ系統図」のうち, 茅野クラブの茅を芽と誤植がありました。お詫びして訂正いたします。

尾張第一分区で国際奉仕委員長会議を開催

名古屋名北R.C.の奥村国際奉仕委員長からのご連絡によれば、去る3月21日(木)、名古屋の第二富士ホテルにおいて、名古屋名北R.C.がホストとなり、分区内19クラブの国際奉仕委員長を集めての会議がもたれたとのことであります。

〈報告事項要旨〉

1. ロータリー財団に関して

- a) 財団学生について——現在滞日中の4名に、4月から1名加わって5名となる。派遣の方は、28名の申込みがあり、来る4月5日選考試験を実施して5名を選出する。正式決定をみるのは9月頃の前定。
- b) 学友会の活動について——これまで日本から派遣した奨学生78名で「学友会」を組織した。その総会を5月に開催。
- c) 財団寄付の免税問題について——この問題は国税庁の説得に努力している段階で、10年このかたの懸案となっている。

2. 世界社会奉仕活動について

- a) 現在の進行状況及び各クラブからの提案

3. 国際奉仕活動について

- a) 愛知県国際交流協会の設立について

4. 青少年交換について

- a) 現状報告——1984-85年度派遣の15名

(1年間)は、3月25日から4月9日にかけてアメリカ、カナダ、オーストラリアへ出発。短期の5名は8月20日頃アメリカへ出発の前定。

- b) 来年度分の交換学生募集について——来る5月末から募集を開始し、7月末願書締め切りの前定で行なう。

- c) 推薦に際しての要望——過去の交換学生の中には、ごく一部だが、交換の正しい意義を解しないものもいるので、交換学生をクラブ推薦する場合には、本人にインタビューし、また両親に会って綿密に調査をして頂き、審査の段階でロータリーの青少年交換の意義をよく周知させて頂きたい。

地区内クラブ別会員増加数

1984年3月末現在

分区	クラブ名	6月末比増減	分区	クラブ名	6月末比増減	分区	クラブ名	6月末比増減	分区	クラブ名	6月末比増減	
尾張第一分区	半田	+2	分区	名古屋空港	-6	三河第二分区	安城	-1	南信第一分区	上田東	●+6	
	半田南	+3		尾張旭	-2		碧南	+4		14C	+66	
	東知多	+1		瀬戸	0		一刈谷	-4		茅野	+2	
	名古屋	●+17		瀬戸北	-1		西尾	+1		富士見	0	
	名古屋千種	●+6		9C	-3		岡崎	●+5		白馬	-3	
	名古屋東	+2		西尾張分区	あま		+1	岡崎東		+4	木曾	0
	名古屋北	+4			尾西		0	岡崎南		●+4	松本	+1
	名古屋名北	●+4			一宮		+4	高浜		+2	松本南	+2
	名古屋名東	-1			稲沢		+3	豊田		+3	松本西	●+4
	名古屋南	+4			西春日井		0	豊田東		+4	岡谷	●+5
	名古屋港	+3		西尾	●-5		豊田西	●+5		大町	●+4	
	名古屋瑞穂	+3		津島	●+34		12C	0		塩尻	-1	
	名古屋守山	●+5	西尾張分区	あま	+4		12C	+27		諏訪	+2	
	名古屋中	●+5		8C	+41	東北信分区	軽井沢	-2	南信第二分区	11C	+16	
	名古屋西	●+20		渥美	+2		小丸	●+6		飯田	0	
	名古屋東南	●+5		蒲郡	+1		南佐	-3		飯田南	●+7	
名古屋和合	●+7	三河第一分区	奥三河	0	長野		-1	飯田島		+2		
東海	+2		新田	●+4	長野東		●+6	伊那		+1		
常滑	●+7		豊橋	●+7	長野北		●+3	駒ヶ根		●+4		
19C	+99		豊橋北	0	長野南		+35	松川		●+4		
東尾張	犬山		+1	豊橋南	●+13		中野	+2		箕輪	-1	
	岩倉	●+4	9C	豊橋	+4		佐久坂	+1		辰野	+1	
	春日井	+2		豊川	●+5		須上	●+4	8C	+18		
	小牧	-1					倉上山田	+2		計	90クラブ	
	江南	0							上田	+3		

●印は、会長賞プログラム目標に到達したもの。

長野北R.C.設立のため、長野東R.C.より、4名移籍しております。

第260地区 ロータリー財団寄付一覧表

1984年 2 月29日現在（単位U.S.ドル）

クラブ名	会 員 数 (57 年 12 月)	本年度累計	寄付額累計	達 成 率 (%)	上位への 必 要 額	クラブ名	会 員 数 (57 年 12 月)	本年度累計	寄付額累計	達 成 率 (%)	上位への 必 要 額
あ ま	73	6,340.54	56,476.65	7,700	463.55	名古屋瑞穂	57	1,013.98	8,771.65	1,600	91.77
安 城	70	1,900.00	41,663.43	6,100	541.10	名古屋守山	79	2,280.75	39,669.37	5,100	356.29
渥 美	57	1,085.99	10,349.31	2,000	220.02	名 古 屋 中	97	5,910.49	62,246.37	7,000	939.93
尾 西	53	2,568.97	21,406.89	4,400	359.34	名 古 屋 北	98	10,967.91	98,676.95	9,800	491.96
茅 野	26	0.00	1,522.73	600	135.72	名 古 屋 南	117	3,177.52	62,434.94	5,300	404.82
富 士 見	32	33.00	6,783.03	2,200	131.52	名古屋東南	83	4,614.99	71,782.51	8,800	180.11
蒲 郡	69	770.99	15,851.64	2,200	302.22	名古屋和合	72	1,486.00	30,625.04	4,900	692.64
白 馬	41	283.63	10,732.39	3,200	139.40	名 古 屋 西	144	8,663.55	71,209.35	5,100	1,398.24
半 田	62	4,316.99	34,854.20	5,400	36.58	中 野	47	1,090.88	8,168.60	1,500	78.02
半 田 南	44	3,475.00	11,964.08	3,000	341.44	西 春 日 井	70	2,822.15	35,764.14	5,100	529.90
碧 南	70	1,929.93	24,654.74	3,600	274.40	西 尾	70	2,139.00	32,775.95	4,500	506.80
東 知 多	45	201.26	18,318.52	4,200	442.80	岡 谷	60	0.00	34,202.52	5,500	57.00
一 宮	83	2,148.32	34,705.65	4,000	788.50	岡 崎	89	1,368.99	59,425.98	7,200	666.61
一 宮 北	75	1,684.02	31,989.14	4,400	525.75	岡 崎 東	60	1,915.99	30,098.21	5,400	460.80
飯 田	83	1,158.99	35,768.69	4,900	173.47	岡 崎 南	77	1,459.46	42,944.51	6,000	297.22
飯 田 南	75	531.11	34,915.05	4,900	330.75	奥 三 河	50	51.99	31,521.32	6,300	439.00
飯 島	35	0.00	19,851.10	6,200	347.90	大 町	61	30.00	19,991.30	3,100	162.26
伊 那	82	1,120.99	32,018.41	4,700	147.60	尾 張 旭	46	48.00	23,555.38	5,300	270.48
稲 沢	51	3,155.74	25,289.19	5,000	446.76	名 古 屋 港	104	3,587.17	58,565.69	5,300	977.60
犬 山	74	2,654.97	42,080.05	5,900	372.96	佐 久	39	359.97	5,694.95	1,800	148.98
一 色	56	320.85	17,646.27	3,400	524.72	瀬 戸	75	2,435.51	35,779.37	5,600	301.50
岩 倉	30	203.00	7,024.23	1,800	184.80	瀬 戸 北	52	62.00	18,803.93	2,900	109.72
刈 谷	83	17,150.21	52,811.07	6,700	14.11	新 城	48	269.00	12,729.19	2,700	80.64
軽 井 沢	38	1,060.00	19,954.27	5,300	326.80	塩 尻	39	0.00	3,947.92	1,200	37.44
春 日 井	80	600.00	56,605.25	7,400	515.20	諏 訪	61	0.00	25,965.91	4,600	223.87
木 曾	48	3,583.28	24,828.14	5,200	121.44	須 坂	38	529.21	3,096.95	900	359.10
駒 ヶ 根	59	0.00	47,874.03	7,900	120.36	田 原	64	814.99	31,898.76	5,400	632.96
小 牧	64	227.99	34,621.92	6,200	423.68	高 浜	44	407.25	18,055.27	4,000	59.40
小 諸	58	2,797.00	48,057.14	8,800	216.34	長 野 野	50	2,999.32	29,682.94	6,100	13.00
江 南	66	791.48	39,023.41	6,200	287.76	戸倉上山田	41	185.00	7,561.84	1,900	63.55
丸 子	40	98.00	8,729.05	2,500	372.00	東 海	51	1,082.00	24,938.23	5,300	377.40
松 川	52	1,400.00	17,951.65	3,900	204.36	常 滑	58	1,775.03	27,472.56	4,700	74.24
松 本	74	1,006.90	44,868.33	5,900	621.60	豊 橋	113	7,819.57	72,315.91	6,700	536.75
松 本 南	78	749.93	37,230.13	4,500	640.38	豊 橋 北	98	3,478.98	46,129.53	4,700	2.94
松 本 西 南	48	125.00	21,501.17	4,900	217.92	豊 橋 南	66	1,938.00	27,365.54	4,400	518.10
南 佐 久	27	27.00	9,714.77	3,500	104.76	豊 川	80	1,509.92	29,512.89	4,400	534.40
箕 輪	29	7,030.40	17,025.37	5,700	234.32	豊 田	86	1,940.53	36,115.65	4,100	613.18
長 野	92	6,492.99	49,340.73	5,600	723.12	豊 田 東	52	1,545.88	6,783.13	1,400	175.24
長 野 東	74	0.00	29,631.17	4,300	655.64	豊 田 西	75	93.01	17,563.25	3,000	43.50
長 野 南	32	421.90	5,618.15	1,800	221.12	津 島	71	2,596.96	36,223.03	5,000	643.26
名 古 屋	221	3,709.29	113,578.55	5,100	570.16	上 田	57	3,209.99	31,152.01	5,600	391.59
名古屋空港	66	73.99	24,122.47	4,100	556.38	上 田 東	49	1,162.00	14,254.28	3,600	408.17
名古屋千種	40	6,863.99	15,936.20	3,900	64.40	尾 張 中央	0	0.00	0.00	0	0.00
名古屋東	96	2,951.00	57,087.71	6,300	615.36						
名古屋名北	50	5,562.00	26,976.92	6,100	261.00						
名古屋名東	54	1,140.88	12,481.87	2,800	437.40	合 計	5,743	188,590.46	2,736,907.68		

数値はロータリー財団本部の集計資料による。

昭和59年 3 月 度 分 区 別 会 員 数 及 び 出 席 率

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 月 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	65	97.93	5	66	- 1
	半 田 南	46	100.00	3	46	0
	東 知 多	45	87.55	5	48	- 3
	名 古 屋	224	94.88	3	226	- 2
	名古屋千種	53	100.00	3	52	+ 1
	名古屋東	94	97.56	4	95	- 1
	名古屋北	100	100.00	5	98	+ 2
	名古屋名北	55	100.00	4	55	0
	名古屋名東	53	100.00	3	53	0
	名古屋南	118	99.52	4	118	0
	名古屋港	106	100.00	5	105	+ 1
	名古屋瑞穂	63	99.36	5	63	0
	名古屋守山	84	99.23	5	82	+ 2
	名古屋中	99	99.63	4	100	- 1
	名古屋西	152	98.31	5	150	+ 2
	名古屋東南	85	100.00	5	85	0
	名古屋和合	83	100.00	4	83	0
	東 海	50	96.00	4	50	0
	常 滑	63	99.03	5	63	0
	19 C	1,638			1,638	0
東 尾 張 分 区	大 山	76	100.00	3	76	0
	岩 倉	34	99.03	3	34	0
	春 日 井	84	100.00	5	83	+ 1
	小 牧	64	97.99	4	63	+ 1
	江 南	65	100.00	5	64	+ 1
	名古屋空港	62	99.60	4	63	- 1
	尾 張 旭	46	98.26	5	46	0
	瀬 戸	76	99.34	4	76	0
	瀬 戸 北	50	100.00	3	50	0
	9 C	557			555	+ 2
西 尾 張 分 区	あ ま	74	99.33	4	74	0
	尾 西	53	98.11	4	53	0
	一 宮	86	99.04	5	86	0
	一 宮 北	76	100.00	5	76	0
	稲 沢	52	100.00	4	52	0
	西 春 日 井	65	98.48	3	65	0
	尾 張 中 央	34	100.00	4	33	+ 1
	津 島	75	100.00	5	75	0
	8 C	515			514	+ 1
三 河 第 一 分 区	渥 美	59	96.61	4	59	0
	蒲 郡	73	96.99	5	73	0
	奥 三 河	52	91.72	5	52	0
	新 城	51	94.51	5	50	+ 1
	田 原	72	97.76	5	71	+ 1
	豊 橋	117	99.26	5	117	0
	豊 橋 北	107	98.65	3	107	0
	豊 橋 南	72	99.24	4	71	+ 1
	豊 川	83	97.89	4	83	0
	9 C	686			683	+ 3

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 月 数	増 減
三 河 第 二 分 区	安 城	71	100.00	5	70	+ 1
	碧 南	72	98.17	4	72	0
	一 色	48	93.33	5	48	0
	刈 谷	84	99.66	4	85	- 1
	西 尾	78	99.89	3	78	0
	岡 崎	92	99.69	4	89	+ 3
	岡 崎 東	61	98.62	5	61	0
	岡 崎 南	79	99.73	5	79	0
	高 浜	46	99.26	3	46	0
	豊 田	91	100.00	5	88	+ 3
	豊 田 東	60	100.00	4	60	0
	豊 田 西	73	100.00	4	73	0
	12 C	855			849	+ 6
東 北 信 分 区	軽 井 沢	39	97.22	4	38	+ 1
	小 諸	60	97.29	5	60	0
	丸 子	37	90.26	5	37	0
	南 佐 久	26	80.40	3	26	0
	長 野 東	94	97.63	3	94	0
	長 野 東	75	95.87	4	78	- 3
	長 野 北	35	94.43	5	—	+35
	長 野 南	35	91.42	4	35	0
	中 野	48	93.75	5	48	0
	佐 久 坂	38	97.37	5	40	- 2
	須 上 山 田	46	68.60	5	46	0
	戸 倉 上 山 田	40	100.00	5	39	+ 1
	上 田	62	95.64	4	59	+ 3
	上 田 東	56	97.11	4	53	+ 3
	14 C	691			653	+38
南 信 第 一 分 区	茅 野	28	85.44	4	28	0
	富 士 見	33	92.18	5	33	0
	白 馬	38	91.89	3	37	+ 1
	木 曾	49	93.61	3	49	0
	松 本	75	100.00	5	75	0
	松 本 南	78	100.00	4	78	0
	松 本 西 南	51	93.29	3	51	0
	岡 谷	66	95.96	3	65	+ 1
	大 町	63	98.25	4	63	0
	塩 尻	39	97.95	5	39	0
	諏 訪	62	92.74	5	61	+ 1
	11 C	582			579	+ 3
南 信 第 二 分 区	飯 田	84	99.23	4	85	- 1
	飯 田 南	80	100.00	5	77	+ 3
	飯 島	35	95.82	4	36	- 1
	伊 那	83	99.18	5	85	- 2
	駒 ケ 根	64	99.09	4	65	- 1
	松 川	55	98.81	5	55	0
	箕 輪	31	96.77	5	30	+ 1
	辰 野	50	100.00	4	48	+ 2
	8 C	482			481	+ 1
計	90 クラブ	6,006			5,952	+54